



鐵輪 宮崎精鋼株式会社 名古屋市中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191 平成29年12月号

第79回創立記念式典開催

11月25日（土）、第79回創立記念式典が知多市勤労文化会館やまももホールで開催されました。永年勤続・安全・ものづくり功労賞・優秀職場・環境改善優良職場5S表彰が行われ、受賞者へ大きな拍手が送られました。



永年勤続表彰の様子

表彰に引き続き、社長が挨拶をされました。要旨は以下の通りです。

今年もたくさんの人が表彰されました、おめでとうございます。多くの方を表彰できるのは嬉しいですし、皆さんの1年の努力の賜物だと思っております。宮崎精鋼は79年目を迎え、来年はいよいよ80周年です。一つの区切りに向け、会社の体質をしっかりと固めていけるよう、日々努力しています。

皆さんもご存じの通り、昨年の販売実績は17万3千トン、売上高263億円、経常利益11億4千万円と、CGF80 1年目の計画よりも上回った成績を残すことが出来ました。2年目の今年も約半分が終わり、見込みでは出荷量は約18万3千トン、売上高は約285億円、経常利益は13億強と、非常に順調に推移しています。おそらく、CGF80 最終年度もこれを上回る数字が期待できるのではないかと考えています。これらの成果は、我々が十数年前からものづくりを原点から見直し、70億円を超える設備投資を行い、生産性向上、高品質化を図った結果です。しかし、一番の原動力となったのは、やはり従業員みなさんの力です。設備をしっかりと使いこなし、日頃から努力して下さっている結果だと思っています。



社長挨拶の様子

我々は今まさに、世界でトップクラスの特殊鋼棒線の二次加工メーカーを目指すという目標に向けて、グループ一丸となって努力しております。特に、メキシコプロジェクトについては、タイや中国、アメリカなどの海外拠点とは違い、100%宮崎精鋼の出資で進めているため、非常に注目されています。日系のお客様のみならず、世界のお客様の期待に応えられるようにしたいと考えております。

もう一つ、我々が80周年を迎えるにあたって大事なのが、「関連会社とのシナジー効果」で、こちらも幸いなことに、非常に順調に進んでおります。東洋精鋼では、アメリカと松阪クラスターに工場が完成し生産を開始しました。交邦磨棒鋼センターについては、顧客本位の細かい商売に特化し、一段と収益を上げています。国内の磨棒鋼の需要は縮小してはいますが、来年にはいよいよ新しい店舗がタイに展開する計画で、楽しみにしています。宮崎エンジニアリングについては、宮崎精鋼の技術部から独立し、どんどん成長を続けてきました。今抱えている大きなプロジェクトは、全て海外関係です。関連会社も含め、ますますグローバル展開が進んでおり、今は非常に重要な時期です。今の成績をしっかりと固めて、次の飛躍の為に土台をしなければいけません。「オールミヤザキ」で、「ワンミヤザキ」となり、80周年に向けて皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。

